

廿八日開催された第六英佛最高軍事會議終了後コンニユニケが發表されたが本日外電の中心であり、「朝日」「日日」「國民」がトップに扱つてゐる。宣言内容を要約すれば英佛兩國は單獨講和締結拒否、平和條件討議拒否、戦後も緊密協力といふにある。今回會議の意義として兩國戦争決意強化並にバルカンの攻勢が傳へられてゐる。「日日」バリ電は歐洲聯盟の原則確立との佛半官筋情報を傳へてゐる。また同盟は英のバルカン大公使歸還命令は英のバルカン政策轉換の前例と見てゐる。

二、米特使、大統領に復命

イ、米特使の復命は國內的に利用價值（ワシントン同盟）
ロ、米の和平幻滅、ル大統領出馬困難（ワシントン朝日）
ハ、英佛ノ關係惡化せば極東に波及強調説（ワシントン都）

内閣情報部四。一 情報第一號

ドイツ船蘭印脱出を準備

一 同盟來電一不發表一

アムステルダム廿九日發同盟（AP電）

蘭印より當地に達したる報道に依れば戦亂勃發と共に東蘭印度諸港に閉ぢ込められてゐたドイツ船約廿隻は數日來護謨、コブラ、椰子油其他の物資を盛んに積載極秘裡に出帆準備を開始した、同船は蘭印諸港を出帆後はウラジオに入港して後、積載貨物をシベリア經由ドイツ向輸送する筈である、尙之等のドイツ船の中アルトマルク號（七、七五〇噸）、ヒンズブルク號（六、二〇〇噸）、フォクトランド號（六、六〇八噸）は船體を灰色に塗り替へ船名を抹殺してゐると云はれる

220

内閣情報部四・一 情報第二號

重慶日本語放送 (三月二十九日)

(東京都市通信局聴取)

一、ソ連邦の政府機關イズベスチア紙は中日戦争に關し次の様に論じて居ります。

中日戦争は既に三年を経過し日本の統治階級は軍事的には中國を征服し得ざる事を悟つた。戦争勃發當時は廣大なる地域を占領し工業交通其他を握つたが中國軍民の一致團結の前には中國軍を撃退することも出來ず軍事は何等の進展を見せて居らない軍隊内には反戰運動が激化して居る。そこで傀儡政權を樹立して軍事上の失敗を蔽はんとして居るのである。併し汪の利用は必ず失敗するであらう。否これ計りでない。日本軍が領外に撤退する迄支那が抵抗する以上は日本の凡ゆる陰謀は成功しないと思ふ。

(妨害電波のため大部分不明)